

# 第6回淀川舟運活性化協議会について

開催日:令和8年2月16日(月)

## 淀川舟運活性化に向けた取組方針について協議します

～第6回淀川舟運活性化協議会※開催～

本協議会では、令和7年度に淀川舟運活性化プロジェクトに基づき実施した取組として、淀川沿川の船着場から夢洲浮棧橋へ万博来場者を輸送する社会実験や淀川舟運フェスティバルなどを報告します。

また、令和8年度の取組方針として淀川ゲートウェイを活用したインフラツーリズムなど各実施主体から報告いただき具体的な内容について協議します。

※ 淀川舟運活性化協議会

淀川舟運の更なる活性化に向けた取り組みを推進すべく、近畿地方整備局・近畿運輸局・淀川沿川自治体・経済団体・民間事業者等で構成。(2022年3月設立)協議会では淀川舟運活性化プロジェクト(1. 淀川舟運の更なるにぎわいの創出、2. 災害時における淀川舟運の活用促進、3. 淀川舟運の情報発信)に基づき取組を推進。

○開催日時：令和8年2月16日(月) 10:00～11:30(9:30より受付開始)

○場所：大手前合同庁舎 1階 共用会議室(別紙1参照)

○内容：① 令和7年度の取組報告  
② 令和8年度の取組予定

○構成員：別紙2参照

○傍聴について：当日会場での傍聴が可能です。(別紙3)

○取材について：当日会場での取材が可能です。(事前申込等、詳細は別紙4参照)

<配布場所> 近畿建設記者クラブ・大手前記者クラブ・海事関係業界プレス・大阪府政記者会・大阪経済記者クラブ・京都府政記者クラブ・京都経済記者クラブ・大阪市政記者クラブ・北摂記者クラブ・枚方記者クラブ・京都市政記者クラブ・宇治日刊記者クラブ・八幡市政記者会

<問合せ先>

淀川舟運活性化協議会 事務局(近畿地方整備局河川部内) 西 広樹・小澤 和幸  
電話：06-6945-6355(直通)

# 令和7年度の取組報告

---

# 淀川舟運活性化協議会のこれまでの取り組み状況

令和6年度末時点における淀川舟運活性化協議会での取組状況としては、●かわまちづくり計画登録5箇所●京都府域から大阪府域までの航路開通（62年振りに復活）●淀川大堰閘門開通●各種淀川沿川イベントの活性化●淀川舟運を活用した防災訓練実施を行ってきたところ。

## 舟運活性化協議会での取組状況（R6年度末）

**緊急物資輸送訓練**  
—海上からの緊急物資輸送を想定した訓練—  
(R6.9社会実験)

**関西の文化・人情を感じるおもてなしクルーズ**  
(インバウンド向け)  
(R5.2社会実験)

**船内コンテンツの充実化**  
船内でミニコンサート  
(R4.12社会実験)

**十三のアート(淀壁)体験と梅田夜景クルーズ**  
(インバウンド向け)  
(R5.11社会実験)

**十三船着場**  
**淀川大堰～大阪湾航路** (R6年度末完成)  
(R6年度末開通)

**十三かわまち** ★  
新北野  
海老江  
舞洲  
夢洲  
大阪湾

**淀川大堰閘門** (R6年度末開通)  
八軒家浜  
大阪市

**伏見船着場** (R6年度末完成)  
**枚方～伏見航路** 開通  
島本町  
背割堤  
八幡町  
八幡市  
高槻市  
枚方市  
大塚  
枚方  
点野  
藤屋川市  
佐本  
淀川  
十三  
柴島  
毛馬  
毛馬閘門  
八軒家浜  
土佐堀川  
宇治川  
宇治市  
天ヶ瀬ダム  
宇治かわまち

**淀川クルーズFESTIVAL**  
伏見航路の開通や淀川沿川の各地で開催される沿川イベントやサイクルイベントと連携  
(R6.10社会実験)

**船内コンテンツの充実化**  
テーマパーク帰りの船内でアフタヌーンティークー스를提供  
(R4.12社会実験)

**沿川イベント連携クルーズ**  
淀川沿川の各地で開催される沿川イベントやサイクルイベントと連携  
(R5.11社会実験)

## 1. 淀川舟運の更なるにぎわいの創出

- (1) 沿川地域の資源を活用した観光コンテンツの商品化 (継続)**  
自治体と舟運事業者が連携した淀川沿川地域の魅力発信観光コンテンツの開発・商品化
- (2) かわまちづくり計画への登録箇所数増加 (継続)**  
登録に伴う周辺整備・事業者の誘致等により、にぎわいを創出【整備完成予定】  
・宇治地区：R13年度完了  
・八幡地区：R14年度完了  
・十三地区：R11年度完了  
・伏見地区：R11年度完了  
・枚方地区：R12年度完了  
・久御山地区：R8年度以降登録
- (3) にぎわいの拠点整備**  
MIZBEステーション、守口外島地区公園再整備、船着場等の整備による沿川のにぎわい拠点の創出

## 2. 災害時における淀川舟運の活用促進

- (1) 防災拠点となる施設の拡大**  
緊急用河川敷道路の延長【宇治川沿い】  
緊急船着場の増設【久御山等】
- (2) 舟運を活用した防災計画の拡充**  
舟運を活用した防災計画の策定と地域防災計画への反映（記載済み8自治体）
- (3) 防災訓練の実施**  
確実な避難体制の構築【水上輸送訓練】  
地域防災計画の内容拡充

## 3. 淀川舟運の情報発信

- (1) 淀川舟運イベントの継続的な実施**  
淀川を船で繋ぐイベントの実施  
イベントPR映像、ポスターの展開
- (2) 国内外に向けた情報発信**  
海外への魅力発信ポスターの作成  
学びの場を活用した親しみの向上（社会実験）

## 【これからの淀川舟運活性化プロジェクトイメージ】



・大阪・関西万博後の夢洲では、世界最高水準のIR実現に向けて、2030年秋頃の開業を目指し大阪IR事業が進められている



・京都府の観光エリアとして、現在、「京都市」、「海の京都」、「森の京都」、「お茶の京都」、「竹の里・乙訓」に加え、新たな観光エリアとして、「川の京都」の取り組みが進められている。

**京都の川巡り**

**フラッグシップ・アクション**

**観光**

**【目指す姿】** いにしえより、京都の文化や産業と深く関わり、地域をつないできた「川」をキーワードに、京都の魅力を再構築し、人を呼び込み、新たな交流と連携を生み出す京都

**概要**

- 淀川舟運の復活を契機に、淀川沿川の自治体が連携し、淀川クルーズや電車マルシェ、沿川の観光スポット巡りなどからなる「淀川舟運フェスティバル」を令和7年5月頃に開催  
(想定会場：京都市伏見区、宇治市、八幡市、久御山町 など)
- また、令和6年10月13日(日)には万博開幕6か月前に合わせて、淀川全域において、観光船の運航や水上アクティビティ、沿川自治体による様々なイベントなどが実施される「淀川クルーズFESTIVAL」を開催  
(想定会場：京都市伏見区、宇治市、八幡市 など)
- 「京都の川」を通じて育まれてきた京都の文化や産業の歴史の深遠さを学ぶ機会や、川の恵みを味わうことができる料理、川を通じたアクティビティなどを体験できる観光コースを造成  
(想定河川等：鴨川、宇治川、桂川、保津川、琵琶湖疏水、高瀬川、田原川、美山川など)

## 令和7年度の舟運活性化の取組

No	名称	概要	コース・船着場	対象	時期	実施主体
①	「川の京都」京都・大阪一気通貫イベント	淀川大堰閘門により新たに開通した京都・大阪の一気通貫ルートを活用した淀川沿川イベント	○伏見⇒枚方⇒淀川大堰閘門⇒十三⇒(夢洲)	関係者 一般	R7年5月	整備局 京都府 自治体 舟運事業者
②	万博会場来場者輸送社会実験	万博会場への来場客輸送	○十三(大阪市)⇒夢洲 ○毛馬(大阪市)⇒夢洲	関係者 一般	R7年8月～10月	整備局 舟運事業者
③	淀川舟運を生かした賑わいづくり実証実験	「淀川舟運を活用した賑わいづくり」の定着を目指したモニターツアーの実施	○伏見⇒背割堤 (※水深不足のため変更)	関係者 モニター	R7年11月	運輸局 自治体 舟運事業者
④	淀川舟運フェスティバル	京都府域の淀川沿川が一体となった活性化イベント	○伏見⇒八幡	一般	R7年5月	京都府 自治体 舟運事業者
⑤	淀川舟運を活かした観光ツアー一造成事業	旅行会社等を対象としたファミルトリップや一般向けモデルツアーの実施	○八幡周遊 (※水深不足のため変更)	関係者 一般	R7年11月	京都府 自治体 舟運事業者
⑥	淀川河川敷十三エリアかわまちづくり計画	○バーベキュー事業(予約制) ○淀川・十三周遊クルーズ ○自然体験学習	○十三⇔新淀川大橋	一般	(BBQ) R7年4月～ (クルーズ) R7年10月 (自然学習) R7年7月、10月	民間事業者 (大阪市淀川区 と協定)
⑦	淀川河川敷枚方エリアかわまちづくり計画	○多自然池まるごと体験 ○生物観察ワークショップ ○リバーテラスくらわんか 等	○はちげんや→毛馬 閘門→枚方	関係者 一般	R7年7月10月	枚方市 民間事業者

## 令和7年度の舟運活性化の取組

No	名称	概要	コース・船着場	対象	時期	実施主体
⑧	八幡市かわまちづくり計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○八幡市クルーズ</li> <li>○三川マルシェWith八幡アクティビティ</li> <li>○木津川川下り体験</li> </ul>	背割堤周遊 流れ橋→背割堤 (Eボート)	関係者 一般	R7年 5月10月	八幡市 民間事業者
⑨	伏見地区かわまちづくり計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○屋形船風遊覧船</li> <li>○川下り&amp;とっておき体験</li> <li>○ふしみなとフェスタ 等</li> </ul>	八幡～伏見 宇治～伏見 (Eボート) 伏見～久御山	関係者 一般	R7年 5月10月	京都市伏見区 民間事業者
⑩	宇治市天ヶ瀬ダム地区かわまちづくり計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○水に親しむわくわくフェスタ</li> <li>○宇治川源平龍舟祭り</li> <li>○宇治川の鵜飼 等</li> </ul>	宇治～伏見 (Eボート)	関係者 一般	R7年5月	宇治市 民間事業者
⑪	久御山町かわまちづくり計画(未登録)	OKUMIYAMA MIZUBE TRIAL (5/11、11/8)	背割堤→久御山 SUP体験	関係者 一般	R7年 5月11月	久御山町 民間事業者
⑫	緊急用船着場を活用した防災訓練等	災害時を想定した緊急物資等の運搬の検証 災害時を想定した帰宅困難者の輸送訓練	十三(大阪市)⇒淀川 大堰閘門⇒大堰閘門 上流の緊急船着場	関係者	R7年11月 R8年 1月	整備局 自治体 舟運事業者
⑬	枚方市総合防災訓練	枚方市総合防災訓練の一環で、舟運を活用した緊急輸送物資輸送訓練	○枚方船着場→避難 所	関係者	R7年11月	自治体 民間事業者
⑭	淀川舟運の情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>○川の船旅ポータルサイト</li> <li>○情報発信分析</li> <li>○水都大阪の防災を学ぶリバークルーズ</li> <li>○淀川150周年PR動画</li> </ul>	○はちけんや→毛馬閘門→淀川ゲートウェイ→十三	関係者 一般	R7年10月	整備局 大阪府 舟運事業者

## ○令和7年度の取組について

### 【協議会の開催】

- ・6月10日 第5回宇治川・天ヶ瀬ダム活性化協議会開催  
天ヶ瀬ダム地区における都市・地域再生等利用区域の申請にかかるとの要望書案についての協議を実施 他
- ・3月中に第6回宇治川・天ヶ瀬ダム活性化協議会を開催予定

### 【天ヶ瀬ダム地区での取組】

- ・10月17日 都市・地域再生等利用区域の指定
- ・1月20日 占用許可が下りる
- ・左岸側管理用通路沿いに市民参画で桜植樹予定（令和8年3月）

### 【宇治橋地区での取組】

- ・高水敷整正、管理用通路の整備（国）
- ・かわまちづくりエリアでのイベント実施

### 【イベント等の実施（一部抜粋）】

- ・淀川舟運フェスティバル（5月10日、11日） 宇治会場での取組み  
 <5月10日>  
 宇治川Eボート川下り体験（宇治～伏見）の実施。  
 また、Eボート出発地である茶づなで「水に親しむわくわくフェスタ」を実施。マルシェやSUP、カヤックプチ体験等を実施。  
 <5月11日>

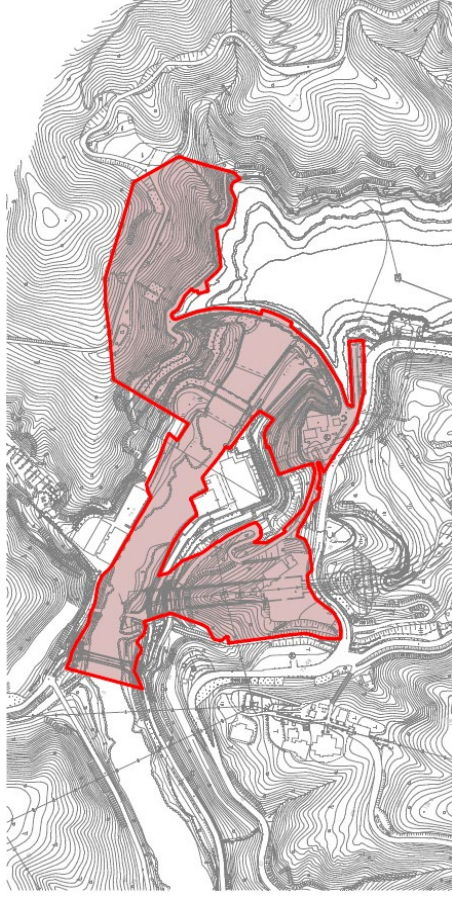
- ・宇治川源平龍舟祭の開催。

### 宇治川の鵜飼の実施

- ・7月～9月（開催日数77日） 参加者数 3,418人
- ・4市連携イベントの実施  
 宇治市、伏見区、八幡市、枚方市で連携し、イベントを実施。  
 宇治市では10月5日に「Eボート川下り」とっておき体験（天ヶ瀬ダム見学）を実施し、出発地である茶づなではマルシェも実施。

別 図

都市・地域再生等利用区域



Eボート川下り



わくわくフェスタ



宇治川の鵜飼



宇治川源平龍舟祭

### ○令和8年度の取組について

#### 【天ヶ瀬ダム地区】

- ・天ヶ瀬ダムがわまちづくり広場（仮称）の完成予定（令和8年秋頃）
- ・天ヶ瀬ダム地区でのイベントや賑わいづくりについて検討
- ・旧志津川発電所の利活用に向けての調査を実施予定



天ヶ瀬ダムツアー



旧志津川発電所

#### 【宇治橋地区】

- ・堤防の階段整備完了予定（国整備後、宇治市にて占用予定）
- ・河川敷を活用したイベント等の実施を検討。
- ・今後の利活用について、民間事業者の意見等を収集し、継続的な活用方法を検討。



茶づなでのマルシェ



河川敷の現況



天ヶ瀬ダムがわまちづくり広場（仮称）イメージ図



宇治橋地区（茶づな周辺）イメージ図